

みる、つくる、かんじる

朝のおとなの1010講座

朝10:10からの美術講座。
美術の世界に親しみやすくなる
ワークショップ・レクチャーです。

お話から
体験まで

時間/10:10→11:10

会場/2階 アトリエ

対象と定員/大学生から一般 15名程度

参加費/無料

申込/不要

▶1/11 [水]

視るは楽しむ教材ボックス

「天然色材の魅力・鉱物」

19世紀に合成の絵の具が次々と開発される前、色材は鉱物・植物・動物から得ていました。今回は天然から得られる色材から「鉱物」を一挙紹介。この話を聞けば、あの名画も違って見えるかも?



▶1/18 [水]

視るは楽しむ教材ボックス

「天然色材の魅力・植物」

染色に使われる植物染料は、毒にも薬にもなり、有機顔料として絵画にも使われます。今回は天然から得られる色材から「植物」のお話です。この話を聞けば、あの名画も違って見えるかも?



▶1/29 [日]

美術からみた文化「金属の造形」

12月の1010講座「叩く・打つ」では、金属の特性を、実際に金槌を使いながら紹介しました。今回は、金属による造形の世界を、その原料である鉱石・鉱物とともに、覗いていきます。



▶1/31 [火]

美術からみた文化

「光のゆくえ〜光源とシルエット」

光があるからモノが見えるけど、光そのものを見るのは難しい。そして光で出来る陰影も、ドキドキしちゃうくらい美しい。七色に輝く作品から、眩しすぎる作品、そしてシルエットでできた作品など、光と造形について紹介します。



ちやっぴーカード

OPAM教育普及の教材をちやっぴーが紹介します。カードといっしょに点線でチラシを切り離し、切れ込みを入れます。差し込んでいろいろな形を作ってみよう。今回は3枚のチラシを使いました。



OPAM

Oita 大分県立美術館
Prefectural
Art
Museum

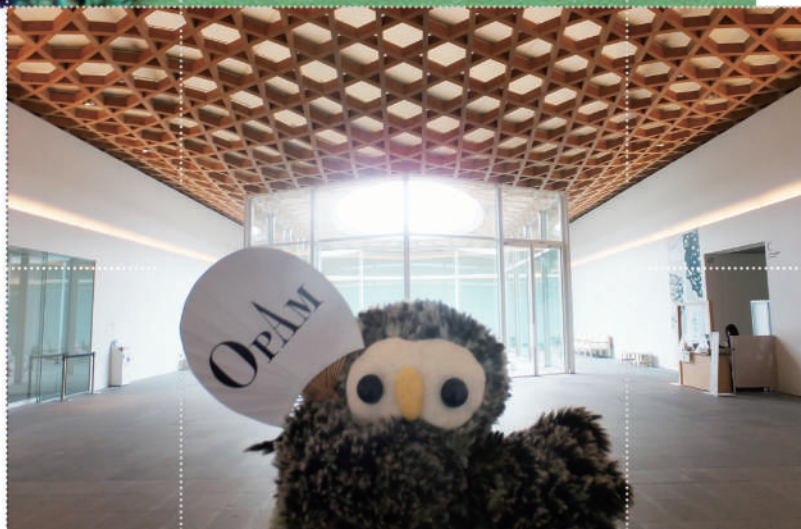
大分県立美術館 教育普及室

〒870-0036 大分市寿町2番1号

TEL097-533-4502 <https://www.opam.jp>

<https://www.facebook.com/OPAMeducation>

OPAM 教育普及 FB



其三

銅鐸・その祈りと造形



講師: 井上洋一 (考古学/奈良国立博物館 館長)

2023年 1月14日[土] 13:30~16:30

其の四

茶室とその精神



講師: 遠山典男 (茶室建築)

2023年 1月21日[土] 13:30~16:30

其の五

「現代美術が細工見世物、美術展が開帳だったころの話」



講師: 木下直之 (博物学・美術史/静岡県立美術館 館長、他)

2023年 1月28日[土] 13:30~16:30

OPAM美術部の活動から
教育普及活動展示



中・高生を対象に、月1~2回の美術部活動を行っています。今年度のテーマは「素材と技術」です。活動の様子をご覧ください。

日時: 2022年12/24土 ~ 2023年1/9月(祝) 会場: 2Fアトリエ 開館時間内

OPAM美術部
アーティストとの出会い

講師: 高橋賢悟 (美術家)

日時: 2023年 1/22日 13:30-16:30

対象: 中学生以上一般 20名程度

会場: 2Fアトリエ

先着順

時間特別拡大枠!
OPAM美術部にアーティストがやってきます。

高橋賢悟さんは、生と死、そして祈りをテーマにアルミニウムの鑄造による金属彫刻を制作しています。高橋さんのアーティストトークとともに、死生観について思いを巡らせませす。一般の方も、この日は参加OKです。

ホームページ[<http://opam.jp>]の申し込みフォームよりお申し込みください。定員に達し次第、ホームページで受付終了をお知らせします。



どなたでもワークショップ

アトリエ・ミュージアム
みんなでつくろっ!

美術館にきた人は、だれでも自由に参加できます。いろいろな素材に触ったり、描いたり、作ったり。プログラムは来てのお楽しみです。

- 日時/1月15日(日)
- 時間/10:30-12:30
14:00-16:00
受付は終了の30分前まで
- 対象と定員/どなたでも 10名程度
- 会場/2階アトリエ
- 参加費・材料費/無料
- 申込/不要

ワークショップとってリ
楽しい時間を
いっしょに!!



産出が少ないため
とても高価な顔料です。

OPAM BOX [Stone Box]より
アズライト

銅できるときに発生する二次鉱物(水や空気と反応して別種に変わったもの)で、水酸化銅・炭酸銅からなる鉱物です。同じ鉱物グループのマラカイト(孔雀石)と一緒に産出されることが多く、和名では藍銅鉱(らんどうこう)と言います。濃い群青色が特徴的で、古来より青をあらわす顔料として利用されてきました。

OPAM
Oita 大分県立美術館
Prefectural
Art
Museum

大分県立美術館 教育普及室

〒870-0036 大分市寿町2番1号
TEL097-533-4502 <https://www.opam.jp>